



新刻
欽定
四庫
全書
卷之二

付友

5
4666
2



門 5
疏 4666
卷 2

新類題發句集其之部

卯月 四月

更衣

此の部は卯月自の部也
其の部は卯月自の部也
其の部は卯月自の部也
其の部は卯月自の部也
其の部は卯月自の部也
其の部は卯月自の部也
其の部は卯月自の部也
其の部は卯月自の部也
其の部は卯月自の部也
其の部は卯月自の部也

蝶夢編

昭和十一年一月十一日寄
尼野貴英氏贈

上法 故貝

太溪

春南

百池

丹后 鼎一

信賢 馬佛

左丈

裕

尾守も同し儀きの海老の
美しきもの中にもあはれ
け能くもなほあはれ
ゆき朝のまはるもあはれ
なほまはるもあはれ
こほせぬ娘のまはるもあはれ
曾あはれあはれもあはれ
馬あはれあはれもあはれ
白あはれあはれもあはれ
なほあはれあはれもあはれ

仔細 二竹
美徒 方壺
京 沂山
雪下
驛道
喃山
李雨
伝名 素柳
伝名 梅珠
伝名 紫雲

長一

綿拵

青羨

さあつりて眠るのあはれ 裕
裕もあはれあはれもあはれ
あはれあはれもあはれ
あはれあはれもあはれ
あはれあはれもあはれ
あはれあはれもあはれ
あはれあはれもあはれ
あはれあはれもあはれ
あはれあはれもあはれ
あはれあはれもあはれ

伝名 乙河
陸奥 連月
仔細 一路
塘里
素心
雪下
驚鳥
伝名 琴之
伝名 醉茶
伝名 瓦二

葵祭

日向も春の光く晴し
あまのいしの物も
福等も肉の身も
人あつても
肩あつても
菊も
舟も
比羅も
比羅も

下
喜一
鹿白
野陽
魚渚
滄浪
蝶研
吳南
比羅
極序

其二

日吉祭

菟麻祭

千回子

灌佛會

瑞の敷神意あり
下
つま
子
志
清
灌
清

陸
佐
馬
吾
蝶
騏
一
唐
東
一
李

佛生會

諸佛や坐して持て佛坐る
諸仏や坐して持て佛坐る
灌佛や佛坐るの経座
丈六の佛坐るの佛坐る
梅極の二重の佛坐る
の坐るの佛坐るの坐る
おの坐るの佛坐るの坐る
法坐るの佛坐るの坐る
又坐る佛の坐るの坐る
坐るの佛坐るの坐る

三打
坐る

呂物

布舟

日明

素輪

後川

黄璞

妻光

古友

佛壽湯

花吉堂

夏春

半躑躅

かゝる世も佛も行ふは坐る
坐るの坐るの坐るの坐る
世の中も坐るの坐るの坐る
自坐るの坐るの坐るの坐る
一坐るの坐るの坐るの坐る
坐るの坐るの坐るの坐る
坐るの坐るの坐るの坐る
坐るの坐るの坐るの坐る
坐るの坐るの坐るの坐る
坐るの坐るの坐るの坐る

長島

平林

菱歌

吳琴

兼人

下谷

花因

魚潜

俊次

不老

夏籠

夏花持

夏書

夏断

雲山 松洋 牛外 龍川 士川 桂門 雨橋 相候 松清 古巢 海断 松野 松清 古巢 海断

夏田

交數

新茶

古茶

園好茶

雲山 松洋 牛外 龍川 士川 桂門 雨橋 相候 松清 古巢 海断 松野 松清 古巢 海断

貝朱 江中 紅野 葉乙 白干 一船 沂凡 淳月 木越 夏宮

黄酒

短夜
海

又さういふ白くは酒さるる那
風をよむ舟の所や風を向
ふのり酒は日和酒なるか
こゝろもや夕月と月影の月
みよ酒も月影と月影の月
短夜や月影と月影の月
さういふ酒の陽あまの月
短夜や月影と月影の月
さういふ酒の陽あまの月
さういふ酒の陽あまの月

楚良
不友
之尺
妻真
和泉
一貫
柀也
曾妹
文里

五五

青嵐

短夜や清き月影と月影の月
短夜や梅もさういふ酒の
さういふ酒の陽あまの月
さういふ酒の陽あまの月
さういふ酒の陽あまの月
さういふ酒の陽あまの月
さういふ酒の陽あまの月
さういふ酒の陽あまの月
さういふ酒の陽あまの月
さういふ酒の陽あまの月

之字
五柳
菴室
枝法
豊人
雄山
斗吟
野々
杏水
梅珠

麦秋

七言五句
 一、
 二、
 三、
 四、
 五、

志得
 如泊
 素足
 重行
 厄富
 梅東
 波瀾
 晚翠
 枝舟

夏六

麦刈

七言五句
 一、
 二、
 三、
 四、
 五、

青出
 習之
 洞雨
 李山
 菊雅
 蘭产
 轻舟
 風如
 馬佛
 茶木

卯花

牡丹花の如く
卯の花の如く
卯の花の如く
卯の花の如く
卯の花の如く
卯の花の如く
卯の花の如く
卯の花の如く
卯の花の如く
卯の花の如く

色江
孤声
杜音
桃睡
古竹
始百
三窓
山笑
首厚
杏清

長七

卯花
卯浪

牡丹

牡丹花の如く
牡丹花の如く
牡丹花の如く
牡丹花の如く
牡丹花の如く
牡丹花の如く
牡丹花の如く
牡丹花の如く
牡丹花の如く
牡丹花の如く

枝白
路風
洗籠
涼瓜
克之
里左
雷夫
如蘭
五來
徳知

芍薬

深から十日有るもの
一箱乃唐草の葉の
芍薬也其の牡丹の
芍薬の葉は十日有る
芍薬の葉は十日有る
その葉は十日有る
今箱の葉は十日有る
芍薬の葉は十日有る
芍薬の葉は十日有る
芍薬の葉は十日有る

古哲
三祿
巨嶋
深亭
末之
支百
吏全
李冠
南浦

燕子花

瑞草の葉は十日有る
けの葉は十日有る
よの葉は十日有る
その葉は十日有る
芍薬の葉は十日有る
芍薬の葉は十日有る
芍薬の葉は十日有る
芍薬の葉は十日有る
芍薬の葉は十日有る
芍薬の葉は十日有る
芍薬の葉は十日有る
芍薬の葉は十日有る

土佐 度雄
信三 小向古
信三 香黄
龍門
恭溪
青馬
賢堂
其心

罌粟花

蜀葵
草花
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

荻花
草花
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百
尾虎
胡蝶
岩藤
美人草
鳳車花

忍冬花
躍草
茶拂叶
玉卷芭蕉
玉卷著
蓮浮葉
芭蕉
落

すいじょうきんぎょめいり
神振てきりなるゆめ踊叶
たのしみもよもやめいり
やまのふもよもやめいり
新梅のたのしみもよもやめいり
しるしもよもやめいり
美もよもやめいり
冷もよもやめいり
あまのよもやめいり
ふもよもやめいり

出羽 山羽
民古
信濃 徳島
文星
京 梅斜
桑露
沙月
木朶
信濃 梅山
白常

長十

蓼
青刺
葎植
香山椒
杜花
枳殼花
白丁花
雁飛

ついでに落のきりけり
延夢の色もよもやめいり
まもよもやめいり
いれ植ていれもよもやめいり
あまのよもやめいり
古のよもやめいり
ふもよもやめいり
あまのよもやめいり
あまのよもやめいり
あまのよもやめいり

陸奥 睡花
投雲
信濃 渡口
信濃 桃五
信濃 南善
信濃 許國
信濃 魚鱗
信濃 桑柳
無位
阿淮

櫻楓苑

繡練色

岩梨

林杏

裏椿

桐花

餘花

餘花

Handwritten cursive text corresponding to the labels above.

桃斗

一扇

麻子

師中

啞火

西李

起東

柯喬

孤舟

碧茗

夏士

夏木立

木下園

Handwritten cursive text corresponding to the labels above.

一爐

聽水

成美

里柱

蝶夢

大冬

青容

河上

言亮

大冬

嫩葉

梅極のきよきつる嫩葉の
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに

五月十一
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極

嫩葉花

梅極のきよきつる嫩葉の
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに

梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極

病葉

梅極のきよきつる嫩葉の
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに

梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極

葉梅

梅極のきよきつる嫩葉の
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに
あつたふりてはるかに

梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極
梅極

櫻 嫩楓 葉柳

葉柳也 嫩楓也 櫻也
 葉柳也 嫩楓也 櫻也
 葉柳也 嫩楓也 櫻也
 葉柳也 嫩楓也 櫻也
 葉柳也 嫩楓也 櫻也
 葉柳也 嫩楓也 櫻也

葉柳也 嫩楓也 櫻也
 葉柳也 嫩楓也 櫻也
 葉柳也 嫩楓也 櫻也
 葉柳也 嫩楓也 櫻也
 葉柳也 嫩楓也 櫻也
 葉柳也 嫩楓也 櫻也

長十卷

長竹

長竹也 長竹也 長竹也
 長竹也 長竹也 長竹也
 長竹也 長竹也 長竹也
 長竹也 長竹也 長竹也
 長竹也 長竹也 長竹也
 長竹也 長竹也 長竹也

長竹也 長竹也 長竹也
 長竹也 長竹也 長竹也
 長竹也 長竹也 長竹也
 長竹也 長竹也 長竹也
 長竹也 長竹也 長竹也
 長竹也 長竹也 長竹也

草茂

草茂也 草茂也 草茂也
 草茂也 草茂也 草茂也
 草茂也 草茂也 草茂也
 草茂也 草茂也 草茂也
 草茂也 草茂也 草茂也
 草茂也 草茂也 草茂也

草茂也 草茂也 草茂也
 草茂也 草茂也 草茂也
 草茂也 草茂也 草茂也
 草茂也 草茂也 草茂也
 草茂也 草茂也 草茂也
 草茂也 草茂也 草茂也

夏野

夏野也 夏野也 夏野也
 夏野也 夏野也 夏野也
 夏野也 夏野也 夏野也
 夏野也 夏野也 夏野也
 夏野也 夏野也 夏野也
 夏野也 夏野也 夏野也

夏野也 夏野也 夏野也
 夏野也 夏野也 夏野也
 夏野也 夏野也 夏野也
 夏野也 夏野也 夏野也
 夏野也 夏野也 夏野也
 夏野也 夏野也 夏野也

夏山

夏山の静けさ
夏山の静けさ
夏山の静けさ
夏山の静けさ
夏山の静けさ
夏山の静けさ
夏山の静けさ
夏山の静けさ
夏山の静けさ
夏山の静けさ

夏山

夏山

夏山

夏山

夏山

夏山

夏山

夏山

夏山

夏山

夏山

夏川

夏川の静けさ
夏川の静けさ
夏川の静けさ
夏川の静けさ
夏川の静けさ
夏川の静けさ
夏川の静けさ
夏川の静けさ
夏川の静けさ
夏川の静けさ

夏木

夏木の静けさ
夏木の静けさ
夏木の静けさ
夏木の静けさ
夏木の静けさ
夏木の静けさ
夏木の静けさ
夏木の静けさ
夏木の静けさ
夏木の静けさ

夏草

夏草の静けさ
夏草の静けさ
夏草の静けさ
夏草の静けさ
夏草の静けさ
夏草の静けさ
夏草の静けさ
夏草の静けさ
夏草の静けさ
夏草の静けさ

夏木

竹

竹の静けさ
竹の静けさ
竹の静けさ
竹の静けさ
竹の静けさ
竹の静けさ
竹の静けさ
竹の静けさ
竹の静けさ
竹の静けさ

竹葉

竹葉の静けさ
竹葉の静けさ
竹葉の静けさ
竹葉の静けさ
竹葉の静けさ
竹葉の静けさ
竹葉の静けさ
竹葉の静けさ
竹葉の静けさ
竹葉の静けさ

無言

此竹

志遠

致理

鳥牧

素柳

晴雲

曉臺

孤海

杜鵑 條子

牛 (Cow) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)

夏十五

杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)
 杜鵑 (Cuckoo) 鳥 (Bird) 杜鵑 (Cuckoo)

甲辰 墨沃
 如卜 青容
 亞漢 五庶
 木奴 左茂
 晉鵑

老翁

郭公のあつたての園の中
竹林のふちのわが花は
初春のふゆのち跡のふゆ
竹のふゆのふゆのふゆ
本心は清き水の新緑の湯
何れも春のふゆのふゆ
枯木のふゆのふゆのふゆ
百歳目のふゆのふゆのふゆ
男のふゆのふゆのふゆのふゆ
老翁のふゆのふゆのふゆ

山崎
蘇夢
春里
滄波
延長
古行
得魚
以白
二塚
若尾

鶯音

ふゆのふゆのふゆのふゆ
鶯のふゆのふゆのふゆ
ふゆのふゆのふゆのふゆ
ふゆのふゆのふゆのふゆ
ふゆのふゆのふゆのふゆ
ふゆのふゆのふゆのふゆ
ふゆのふゆのふゆのふゆ
ふゆのふゆのふゆのふゆ
ふゆのふゆのふゆのふゆ
ふゆのふゆのふゆのふゆ

古帆
階上
朝字
集知
争茂
集知
五井
風形
重厚
阿音

布穀

鶯のふゆのふゆのふゆ

昔一羽をたててのりて
 石見 此降
 昔のいづれか人のまゝ
 北洋 同喜
 はしきつゝのちのちのち
 石見 雀茶
 我意一ふまゝのちのち
 石見 石化
 人乃中其のちのちのち
 和重
 ちのちのちのちのち
 妻鴉
 穀のちのちのちのち
 如伯
 福のちのちのちのち
 李山
 けあつてのちのちのち
 丈草

三十七

行々子
 山陰のちのちのちのち
 此松
 ちのちのちのちのち
 用信 志功
 布穀のちのちのちのち
 李後
 はしきつゝのちのちのち
 尾他 馬六
 山陰のちのちのちのち
 上野 杉雪
 ちのちのちのちのち
 上野 琴枕
 ちのちのちのちのち
 上野 倉波
 ちのちのちのちのち
 上野 四祖
 常のちのちのちのち
 青梅

葭切

方田鳥

青鷺

鷹野入

編摺

白干

茄壳

束金

薯成

紫菜

陶々

松涛

三考

折凡

依兮

夏十八

土鴨

蓋

かきあつやあなまに

往翼や岸の葉も

編摺の破れも

ふたふた

仙風も

乙の露の

指あつ

村の

は月

言

指月

真調

群城

瓜涼

徳志

由羽

如竹

素涼

雅曼

待石

蚊相

蚊帳

蚊の相もさういふ風にお
蚊の相も目のちかちか
蚊の相もさういふ蚊の
音は蚊の音さういふ
音は蚊の音さういふ
音は蚊の音さういふ
音は蚊の音さういふ
音は蚊の音さういふ

梧菴
杜栗
行亮
丁水
岳如
扇橋
曾秋
唇凡
子影
蝶曼

夏廿

紙帳

蚊遣火

蚊遣火の相もさういふ
蚊遣火の相もさういふ
蚊遣火の相もさういふ
蚊遣火の相もさういふ
蚊遣火の相もさういふ
蚊遣火の相もさういふ
蚊遣火の相もさういふ
蚊遣火の相もさういふ

鯉凡
斗六
根豆
五束
徳島
羅漢
琴波
吉野
志念
采五

蠶金
蠶糸取
堅魚

好色り火や燭て入るる海
痛く熱境の糸は好遣り非
名り火や火の心は白
一里好遣りあふりあふり
不しよの心は健也蘭子入
心は好遣りあふりあふり
初め好遣りあふりあふり
一里好遣りあふりあふり
心は好遣りあふりあふり
約也心は好遣りあふり

女 寸江
香麁
桂蘭
我白
土祢
幽管
似柳
發雨
里雪
其柙

鯉生節
鮎

生りや燭て入るる海
心は好遣りあふりあふり
龍鱗心は好遣りあふり
揚子好遣りあふりあふり
心は好遣りあふりあふり
心は好遣りあふりあふり

同福
蘭戸
買山
葛毒
海菜
壽道

鹿袋角

五月

泉月
心は好遣りあふりあふり
心は好遣りあふりあふり

出羽
六二
完末

夏至

子時中氣也 行也 夏至の節

白兒

端午

五月五日 菖蒲酒を飲む

素御

菖蒲

仲夏の節 菖蒲酒を飲む

雨橋

菖蒲賣

菖蒲を売る 菖蒲酒を飲む

古樂

菖蒲葺

菖蒲で葺く 菖蒲酒を飲む

石見 湖月

夏至

蓬葺

蓬で葺く 菖蒲酒を飲む

素釣

菖蒲湯

菖蒲湯に入る 菖蒲酒を飲む

求五

菖蒲酒

菖蒲酒を飲む 菖蒲酒を飲む

市原

菖蒲酒

菖蒲酒を飲む 菖蒲酒を飲む

自涼

草蒲葦

草蒲葦の葉は、結ぶと、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。舟草の葉は、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。

梅明
子世

草蒲葦

草蒲葦の葉は、結ぶと、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。舟草の葉は、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。

陶々

藥玉

藥玉の葉は、結ぶと、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。舟草の葉は、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。

賈友

粽

粽の葉は、結ぶと、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。舟草の葉は、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。

五鹿

懺

懺の葉は、結ぶと、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。舟草の葉は、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。

陰浪

夏廿卷

飾境

飾境の葉は、結ぶと、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。舟草の葉は、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。

周泉

印地打

印地打の葉は、結ぶと、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。舟草の葉は、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。

素琴

加藤鶴

加藤鶴の葉は、結ぶと、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。舟草の葉は、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。

吹笛

藥日

藥日の葉は、結ぶと、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。舟草の葉は、舟の形に似る。故に舟の形に似る草蒲葦を舟草と云ふ。

柳也

白兒

竹醉日

五月雨

白龍
 波鴨
 素里
 五竹
 文塘
 五烟
 玉東
 梅人
 素十

其廿四

露仙
 擗斗
 鶯啼
 杜音
 葉史
 共成
 道肥
 馬瓶
 末之
 白龍

梅雨

昔年の雨の如くやあけぬ
耐えられぬ雨の心も
もどかぬ雨の心も
しるしの雨の心も
いさぎよしの雨の心も
市川の水も雨の心も
古徳の徳も雨の心も
あけぬ雨の心も
あけぬ雨の心も
あけぬ雨の心も

末 花棠

梅雨 石芽

五合

梅雨 梅棠

土佐 梅棠

榎屋

五雲

東之

梅雨

夏廿五

五月廿

五月廿
五月廿
五月廿
五月廿
五月廿
五月廿
五月廿
五月廿
五月廿
五月廿
五月廿
五月廿
五月廿
五月廿

乙大 廿二

尾尾 粗河

安藝 其申

香凡

膳花

阿雅

土佐 喜治

仙字

素仁

我百

梅雨晴

五月廿

虎雨

夕雨の音は秋の心
橋の影は水にうつり
柳の葉は風に揺れ
倦くゆくは夕の光
空の雲は夕の影
隙の風は夕の音
葉の落ちるは夕の雨
来りゆくは夕の光
心ゆくは夕の影
夕の光は夕の影

夏風

秋後 此柳
白 白駒
文 文曉
古 古能
牧 牧牛
芥 芥子
嵐 嵐字
沂 沂風
鑄 鑄石
唱 唱

夏共

花鳥

花の影は人の心
鳥の音は人の声
夕の光は人の影
空の雲は人の心
隙の風は人の音
葉の落ちるは人の雨
来りゆくは人の光
心ゆくは人の影
夕の光は人の影

回 回茶
菜 菜二
加 加角
倉 倉南
秋 秋水
阿 阿人
素 素友
當 當車
一 一泉
道 道

石菖蒲

石菖蒲 一葉一花 清香可人 宜於水石 宜於山房 宜於書室 宜於藥室 宜於病室 宜於老室 宜於幼室 宜於貧室 宜於富室 宜於貴室 宜於賤室 宜於寒室 宜於暑室 宜於燥室 宜於濕室 宜於乾室 宜於陰室 宜於陽室 宜於東室 宜於西室 宜於南室 宜於北室 宜於中室 宜於外室 宜於內室 宜於前室 宜於後室 宜於左室 宜於右室 宜於上室 宜於下室 宜於中室 宜於外室 宜於內室 宜於前室 宜於後室 宜於左室 宜於右室 宜於上室 宜於下室

李公

鶴翅

蝶翅

此柱

園策

素兄

寄流

青播

冬雪

苦而

其

萱草花

紅藍花

紫藍花

萱草花 紅藍花 紫藍花 宜於水石 宜於山房 宜於書室 宜於藥室 宜於病室 宜於老室 宜於幼室 宜於貧室 宜於富室 宜於貴室 宜於賤室 宜於寒室 宜於暑室 宜於燥室 宜於濕室 宜於乾室 宜於陰室 宜於陽室 宜於東室 宜於西室 宜於南室 宜於北室 宜於中室 宜於外室 宜於內室 宜於前室 宜於後室 宜於左室 宜於右室 宜於上室 宜於下室

百合花

深花

藻竹

百合花 深花 藻竹 宜於水石 宜於山房 宜於書室 宜於藥室 宜於病室 宜於老室 宜於幼室 宜於貧室 宜於富室 宜於貴室 宜於賤室 宜於寒室 宜於暑室 宜於燥室 宜於濕室 宜於乾室 宜於陰室 宜於陽室 宜於東室 宜於西室 宜於南室 宜於北室 宜於中室 宜於外室 宜於內室 宜於前室 宜於後室 宜於左室 宜於右室 宜於上室 宜於下室

臥龜

玉燕

柳枝

寫文

東下

此流

道肥

幾家

几董

傾傘

草花

草花の白くも花の紅くも
うらやましくも花の白くも
うらやましくも花の紅くも
うらやましくも花の白くも
うらやましくも花の紅くも
うらやましくも花の白くも
うらやましくも花の紅くも
うらやましくも花の白くも
うらやましくも花の紅くも
うらやましくも花の白くも

草花

古道

芝友

秋水

二扇

桃路

坐来

樂枕

毛雨

帆風

長廿八

草木

酸漿

耳多南

杜鵑花

栗花

草木の白くも花の紅くも
うらやましくも花の白くも
うらやましくも花の紅くも
うらやましくも花の白くも
うらやましくも花の紅くも
うらやましくも花の白くも
うらやましくも花の紅くも
うらやましくも花の白くも
うらやましくも花の紅くも
うらやましくも花の白くも

獨祖

晋信

二伯

急良

左翠

戲蝶

順古

墻隱

麥院

蘇木

招榴花

未央押

盧橘

合歡花

南の風やまの原のしづかに
西の風やまの原のしづかに
嶺の峰やまの原のしづかに
志の心やまの原のしづかに
望の眼やまの原のしづかに
雨の音やまの原のしづかに
花の香やまの原のしづかに
鳥の声やまの原のしづかに
水の流やまの原のしづかに
月の光やまの原のしづかに
星の輝やまの原のしづかに

招榴花
月湖
重厚
舵足
亞直
杏庵
梅芽
翠紅
馬頭

夏廿九

柳花

棟花

南玉花

紫陽花

福の神やまの原のしづかに
運の星やまの原のしづかに
あやのやまの原のしづかに
雨の音やまの原のしづかに
花の香やまの原のしづかに
鳥の声やまの原のしづかに
水の流やまの原のしづかに
月の光やまの原のしづかに
星の輝やまの原のしづかに

柳花
巴文
散庵
由古
樟仙
白登
里由
徳一
文徳

紫陽花 紫陽花 人 人 花 花 同 同
 下毛花 下毛花 花 花 同 同
 覆盆子 覆盆子 花 花 同 同
 桑實 桑實 花 花 同 同
 山施子 山施子 花 花 同 同

夏三

生胡椒 生胡椒 花 花 同 同
 青梅 青梅 花 花 同 同
 于栢 于栢 花 花 同 同
 荔枝 荔枝 花 花 同 同
 早桃 早桃 花 花 同 同
 杏子 杏子 花 花 同 同
 李子 李子 花 花 同 同

如在 如在
 瓦山 瓦山
 岚士 岚士
 角山 角山
 有隣 有隣
 笠古 笠古
 細雲 細雲
 青窓 青窓
 玉園 玉園
 晋信 晋信

揚梅 枇杷 早松茸 藜 苜蓿 茄子

やうもやうきつゆのたうき
はらうらふらふのたうき
はらうらふらふのたうき
はらうらふらふのたうき
はらうらふらふのたうき
はらうらふらふのたうき
はらうらふらふのたうき
はらうらふらふのたうき

秋毛 葉菜 二竹 白兒 古伯 魯白 李山 花胡 可也 蘭干

長三二

瓜花 越瓜 胡瓜 若竹

朝のやうきつゆのたうき
はらうらふらふのたうき
はらうらふらふのたうき
はらうらふらふのたうき
はらうらふらふのたうき
はらうらふらふのたうき
はらうらふらふのたうき
はらうらふらふのたうき

錢氏 素兒 録夢 冬馬 道紀 菊淨 立齋 富孫 標碎 若水

今昔竹也

竹の葉は風を切る如く
 秋の竹は霜を帯びて
 白く染まる如く
 竹の節は石の如く
 堅く固い如く
 竹の根は地を穿つ如く
 深く入り込む如く
 竹の影は月影の如く
 清く涼しい如く
 竹の香は梅の如く
 清く冷たい如く
 竹の姿は君子の如く
 節操高く如く

杜中

玄文

陶々

如圖

盤凡

五来

燦爰

供青

羽下

古而

夏子二

竹皮簾

竹の皮は滑らかなる如く
 涼しい如く
 竹の皮は夏に掛けて
 涼を取る如く
 竹の皮は冬に掛けて
 暖を取る如く
 竹の皮は雨に掛けて
 濡れを防ぐ如く
 竹の皮は風に掛けて
 風を切る如く
 竹の皮は光に掛けて
 影を落とす如く

影居

霞巡

杜若

白鹿

高白

須知

一眠

如洋

花溪

早苗圃

早苗圃の緑は春の如く

大和

早苗

田植

はらばらさくせうはらばらさくせう
少くはらばらさくせうはらばらさくせう
苗よりも能くはらばらさくせう
柿よりも能くはらばらさくせう
くはらばらさくせうはらばらさくせう
あはらばらさくせうはらばらさくせう
植へばらさくせうはらばらさくせう
一よりも能くはらばらさくせう
はらばらさくせうはらばらさくせう
はらばらさくせうはらばらさくせう

春山
落亭
故栖
折風
蝶舞
呂教
紫山
指嶋
稔夏
東圃

長子春

早女

はらばらさくせうはらばらさくせう
はらばらさくせうはらばらさくせう
はらばらさくせうはらばらさくせう
はらばらさくせうはらばらさくせう
はらばらさくせうはらばらさくせう
はらばらさくせうはらばらさくせう
はらばらさくせうはらばらさくせう
はらばらさくせうはらばらさくせう
はらばらさくせうはらばらさくせう
はらばらさくせうはらばらさくせう

南龍
紫山
木北
鳥秋
千友
了明
杜音
竹波
楚時
青宮

青田

余の字は青田の字を以てし
其の字は青田の字を以てし
其の字は青田の字を以てし
其の字は青田の字を以てし
其の字は青田の字を以てし
其の字は青田の字を以てし
其の字は青田の字を以てし
其の字は青田の字を以てし

出

杜考

谷水

晴再

朱姑

松公知

蘭戸

蝶夢

巴川

竹雨

曹泥

青田

青田

豆植

蜜

菽之下一畦也其地拾の取
今種一畝の地也其地拾の取
其の地は青田の地也其地拾の取
其の地は青田の地也其地拾の取
其の地は青田の地也其地拾の取
其の地は青田の地也其地拾の取
其の地は青田の地也其地拾の取
其の地は青田の地也其地拾の取

系

瓜菜

豆粒

东丹

太布

鳳効

菜二

楚流

右収

度旅

斗六

虫狩

虫籠

Handwritten cursive text in the right column, likely a list of items or descriptions related to insect hunting and traps.

東証
虫籠
耳香
得性
琴之
如法
同繁
白
露花
吳竺

五三

蝸牛

Handwritten cursive text in the left column, likely a list of items or descriptions related to snails.

古考
十士
支百
梨青
秋香
陶々
宰相
至峰
江山
夏雨

蚰蜒

蛭

蚊

蟪蛄生

附蠃は乃て相すくしうし
つのはねて何れかほけり
角をてしはすまきり
かきくくまふふまきり
蛭よひる苗まじはる
蛭をすく相すくまきり
まきり人をも一期と
蚊母や何れまきり
夕まきの蚊をすくま
かきくくやけりあふ

吏令
吉俣

希野
桃里

吳南

塘子
鶴眠

菜湯
夕口

五三六

蛇脱衣

水雞

鴉川

雨の日や浪も消さく
草叶の葉も消さく
地も消さく
よけ人の心も消さく
まきりまきりまきり
まきりまきりまきり
まきりまきりまきり
まきりまきりまきり
まきりまきりまきり
まきりまきりまきり

竹風

千圭

里石

州山

回春

白老

佳翁

木鶏

笑嘆

蝶夢

翡翠
羽脱鳥
鶉菜
水鳥菜

子...
 無...
 羽...
 十...
 心...
 川...
 上...
 聖...
 朝...

格堂
 如伯
 盤舟
 鳥名
 桃李
 貝朱
 玉雪
 樗六
 志江
 青園

五三七

電啼
築打
唐子

鳥...
 波...
 若...
 竹...
 名...
 夕...
 築...
 初...
 唐...

信法 如毛
 近江 扇律
 女 枝法
 法活 玉屑
 秋后 秋野
 若夫 鶴兒
 近江 露候
 加賀 野玉
 凌冬

照射

美しき花の影を照らす
里の夕陽に花を照らす
竹の影を照らす
空の月を照らす
雲の影を照らす
水の流れを照らす
山の色を照らす
空の青さを照らす
花の香りを照らす
人の心を照らす
月の光を照らす

九十

菊隱

軒秋

松雲

白雲

園更

志野

路人

山雲

五三人

火串

小鱈

干鰯

火の串を焼く
小鱈を焼く
干鰯を焼く
火の串を焼く
小鱈を焼く
干鰯を焼く
火の串を焼く
小鱈を焼く
干鰯を焼く
火の串を焼く
小鱈を焼く
干鰯を焼く

曝布

夏衣

唐羽織

帷子

曝布を干す
夏衣を干す
唐羽織を干す
帷子を干す
曝布を干す
夏衣を干す
唐羽織を干す
帷子を干す
曝布を干す
夏衣を干す
唐羽織を干す
帷子を干す
曝布を干す
夏衣を干す
唐羽織を干す
帷子を干す

半洲

燦研

士厚

睡花

航翠

行月

魚恩

巴水

佛舟

五來

辻花
喜多川のほとり
清くもくもく
糸吟

六月

水鏡月
この月も食の道に
如泊

氷室
そのまじり
古謙

行のまじり
西屋
廻心

五三九

氷賣
このまじり
上地
唱祖

氷餅
そのまじり
杜音

一夜酒
餅
縁袴

嘉祥
十の角
枝風

祇園會
月餅
萬花

月餅

座不納涼
饅首切

青心丸入りおきもいさか
傘洋也日蓮通補正前より
かきんり降るるるるるる
しりりりりりりりりりり
流るるるるるるるるるる
つるるるるるるるるるる
やとるるるるるるるるる
網川るるるるるるるるる
竹中りりりりりりりりり
川後りりりりりりりりり

京 牧芋
如 素外
山 扇尺
米 重厚
和 貝朱
庄 休乙
山 秋野
故 44
夏甲

御枝

夏種

夏越種

河社

菊輪

のあまのりりりりりりり
流るるるるるるるるるる
りりりりりりりりりりり
りりりりりりりりりりり
りりりりりりりりりりり
りりりりりりりりりりり
りりりりりりりりりりり
りりりりりりりりりりり
りりりりりりりりりりり
りりりりりりりりりりり
りりりりりりりりりりり

杜静
東吹
成羨
浪雨
旧園
壺山
菊白
吾令
菊乙
老馬
夏種

形代

重垢離

小夜生

土用

土用丁

草の痛も秋のしづかに
かへるふしを流しあつたの
形代も昔のまじりぬ
形代も昔のまじりぬ
清れも夏の水にうき
涙流すも早稲のやうに
此のまじりぬまじりぬ
まじりぬまじりぬ秋の
月ひく人喜ぶまじりぬ
袷帯もあるまじりぬ

来之
土佐
南洞
路静
魚光
夜打
雨鮎
葉屋
白岩

夏甲一

虫丁

まじりぬ虫のまじりぬ
まじりぬ虫のまじりぬ
まじりぬ虫のまじりぬ
まじりぬ虫のまじりぬ
まじりぬ虫のまじりぬ
まじりぬ虫のまじりぬ
まじりぬ虫のまじりぬ
まじりぬ虫のまじりぬ
まじりぬ虫のまじりぬ
まじりぬ虫のまじりぬ

浦夕
鳥曉
如泊
吳三
喃山
飄之
箕町
材吾
安南
如毛

扇
 此二尺重なり刀打ぬまのり
 ちりや世のあまの母と又
 出たり下りるらん陣左敷
 ち拂ふ打目なり結ひ
 ちや記書すも相の本
 ちやや袖の事し女の本
 紋とる産すもあつる乳
 袖ふふりしつるのり
 此のあまの事しつるのり
 扇の事しつるのり

鳳儲
 嘉多
 龍翠
 也柳
 效枝
 金生
 葉二
 黒沢

長四二

扇
 阿つてもあつる女のあまの
 二つ打拿ある事あまの乳
 惟此の袖振りしつるのり
 此のあまの扇の白の事
 銀あまの産すもあつる乳
 ちの乃の産すもあつる乳
 此のあまの事しつるのり
 ちの事しつるのり
 此のあまの事しつるのり
 此のあまの事しつるのり

麦光
 魚溜
 翠室
 是龍
 狂掃
 俊祐
 几草
 此川
 燕志
 河風

扇

行拭

掛香

日傘

簞

夕ぐれにちかづくや、曇り白
 羽衣の清き扇を、さしあぐら
 坐すも、つらふ松陰に、二あまた
 九折の色褪せ、まじりけり
 ありて、くさくさのあせ我
 う、くさくさのあせ我
 掛る、くさくさのあせ我
 掛け、くさくさのあせ我
 掛け、くさくさのあせ我

張り
兼白

美人

坐忘

遊公

大和
黄岩

一考

後白
一考

紀行
子晋

一考

夏四巻

籠枕

抱籠

中婦合

暑

夕ぐれにちかづくや、曇り白
 籠枕の清き扇を、さしあぐら
 抱くも、つらふ松陰に、二あまた
 九折の色褪せ、まじりけり
 ありて、くさくさのあせ我
 う、くさくさのあせ我
 掛る、くさくさのあせ我
 掛け、くさくさのあせ我

行充

東葉

お持
素兒

何川
日金

片等
打鳥

只言

左隆

遊下
遊而

有年... 志江... 佛舟... 潮屯... 陰波... 定雅... 鶯口... 雲... 青牛...

其田

雲峯
 梅珠... 雲... 青牛...

白雨

白雨 後 龍文
 中 重厚
 白麻
 後 成英
 梨陰
 附鳳
 馬來
 李庭
 春南

夏四ノ五

雨乞

後 菅杉
 東走
 習之
 狂痒
 後 那与
 葛下
 後 龍文
 後 川
 臨華
 紫芝

凉

Handwritten cursive text in the right column of the right page, consisting of approximately 12 lines of characters.

木越
砂旭
杜由
寸耳
馬歌
馬吹
招清
羽立
曹川
曹旭

夏四六

薰風

納凉

Handwritten cursive text in the left column of the right page, consisting of approximately 12 lines of characters.

竹遠
披雲
東李
集雲
吳德
兩人
龜息
迎月
雪下

加茂納涼

ついでに海濱の風をよむ
夕影の目もつらき床
川原も別れありて
あはれ胸をわづらふ
内橋の神もさびし
いづれ柳の影も
あはれをよむ
さびしき草の根も
涼もよむ

紀伊 周瓜
蝶夢
可能
伊予 伊豆 素心
羽白
芋月
定雅

夏四十七

加茂納涼

清水

清らかなる水も
川原の影も
あはれをよむ
さびしき草の根も
涼もよむ

伊予 伊豆 素心
羽白
芋月
定雅

打水

天竺... 踏... 馬... 惜... 必... 了... 了... 了... 打... 打...

如戶 恩宿 立竹 龜兄 其巖 是明 宋鑑 宗漢 彩石 一瓢

夏四ノ八

心太

隱... 本... 松... 九... 之... 着... 乃... 砂... 水... 水...

腫毒 吳門 蝦交 春如 八桂 几華 送立 行亮 錦水 柳次

葛水

水賣

水

水飯	引飯	切麥	冷汁	煮冷	麻地酒	夏切茶	香齋散
水飯 <small>之何</small> 引飯 <small>之何</small> 切麥 <small>之何</small> 冷汁 <small>之何</small> 煮冷 <small>之何</small> 麻地酒 <small>之何</small> 夏切茶 <small>之何</small> 香齋散 <small>之何</small>	水飯 <small>之何</small> 引飯 <small>之何</small> 切麥 <small>之何</small> 冷汁 <small>之何</small> 煮冷 <small>之何</small> 麻地酒 <small>之何</small> 夏切茶 <small>之何</small> 香齋散 <small>之何</small>	水飯 <small>之何</small> 引飯 <small>之何</small> 切麥 <small>之何</small> 冷汁 <small>之何</small> 煮冷 <small>之何</small> 麻地酒 <small>之何</small> 夏切茶 <small>之何</small> 香齋散 <small>之何</small>	水飯 <small>之何</small> 引飯 <small>之何</small> 切麥 <small>之何</small> 冷汁 <small>之何</small> 煮冷 <small>之何</small> 麻地酒 <small>之何</small> 夏切茶 <small>之何</small> 香齋散 <small>之何</small>	水飯 <small>之何</small> 引飯 <small>之何</small> 切麥 <small>之何</small> 冷汁 <small>之何</small> 煮冷 <small>之何</small> 麻地酒 <small>之何</small> 夏切茶 <small>之何</small> 香齋散 <small>之何</small>	水飯 <small>之何</small> 引飯 <small>之何</small> 切麥 <small>之何</small> 冷汁 <small>之何</small> 煮冷 <small>之何</small> 麻地酒 <small>之何</small> 夏切茶 <small>之何</small> 香齋散 <small>之何</small>	水飯 <small>之何</small> 引飯 <small>之何</small> 切麥 <small>之何</small> 冷汁 <small>之何</small> 煮冷 <small>之何</small> 麻地酒 <small>之何</small> 夏切茶 <small>之何</small> 香齋散 <small>之何</small>	水飯 <small>之何</small> 引飯 <small>之何</small> 切麥 <small>之何</small> 冷汁 <small>之何</small> 煮冷 <small>之何</small> 麻地酒 <small>之何</small> 夏切茶 <small>之何</small> 香齋散 <small>之何</small>
葉陸	得々	由木	冬李	東阿	孝安	醫海	為工
葉陸 <small>之何</small> 得々 <small>之何</small> 由木 <small>之何</small> 冬李 <small>之何</small> 東阿 <small>之何</small> 孝安 <small>之何</small> 醫海 <small>之何</small> 為工 <small>之何</small>	葉陸 <small>之何</small> 得々 <small>之何</small> 由木 <small>之何</small> 冬李 <small>之何</small> 東阿 <small>之何</small> 孝安 <small>之何</small> 醫海 <small>之何</small> 為工 <small>之何</small>	葉陸 <small>之何</small> 得々 <small>之何</small> 由木 <small>之何</small> 冬李 <small>之何</small> 東阿 <small>之何</small> 孝安 <small>之何</small> 醫海 <small>之何</small> 為工 <small>之何</small>	葉陸 <small>之何</small> 得々 <small>之何</small> 由木 <small>之何</small> 冬李 <small>之何</small> 東阿 <small>之何</small> 孝安 <small>之何</small> 醫海 <small>之何</small> 為工 <small>之何</small>	葉陸 <small>之何</small> 得々 <small>之何</small> 由木 <small>之何</small> 冬李 <small>之何</small> 東阿 <small>之何</small> 孝安 <small>之何</small> 醫海 <small>之何</small> 為工 <small>之何</small>	葉陸 <small>之何</small> 得々 <small>之何</small> 由木 <small>之何</small> 冬李 <small>之何</small> 東阿 <small>之何</small> 孝安 <small>之何</small> 醫海 <small>之何</small> 為工 <small>之何</small>	葉陸 <small>之何</small> 得々 <small>之何</small> 由木 <small>之何</small> 冬李 <small>之何</small> 東阿 <small>之何</small> 孝安 <small>之何</small> 醫海 <small>之何</small> 為工 <small>之何</small>	葉陸 <small>之何</small> 得々 <small>之何</small> 由木 <small>之何</small> 冬李 <small>之何</small> 東阿 <small>之何</small> 孝安 <small>之何</small> 醫海 <small>之何</small> 為工 <small>之何</small>

夏四ノ九

夏瘦	製掃	曝井	蓮
夏瘦 <small>之何</small> 製掃 <small>之何</small> 曝井 <small>之何</small> 蓮 <small>之何</small>	夏瘦 <small>之何</small> 製掃 <small>之何</small> 曝井 <small>之何</small> 蓮 <small>之何</small>	夏瘦 <small>之何</small> 製掃 <small>之何</small> 曝井 <small>之何</small> 蓮 <small>之何</small>	夏瘦 <small>之何</small> 製掃 <small>之何</small> 曝井 <small>之何</small> 蓮 <small>之何</small>
雪居	丈波	几董	作雲
雪居 <small>之何</small> 丈波 <small>之何</small> 几董 <small>之何</small> 作雲 <small>之何</small>	雪居 <small>之何</small> 丈波 <small>之何</small> 几董 <small>之何</small> 作雲 <small>之何</small>	雪居 <small>之何</small> 丈波 <small>之何</small> 几董 <small>之何</small> 作雲 <small>之何</small>	雪居 <small>之何</small> 丈波 <small>之何</small> 几董 <small>之何</small> 作雲 <small>之何</small>
南瓜	倭泉	未龍	醫橋
南瓜 <small>之何</small> 倭泉 <small>之何</small> 未龍 <small>之何</small> 醫橋 <small>之何</small>	南瓜 <small>之何</small> 倭泉 <small>之何</small> 未龍 <small>之何</small> 醫橋 <small>之何</small>	南瓜 <small>之何</small> 倭泉 <small>之何</small> 未龍 <small>之何</small> 醫橋 <small>之何</small>	南瓜 <small>之何</small> 倭泉 <small>之何</small> 未龍 <small>之何</small> 醫橋 <small>之何</small>
桂蘭	雲鷲		
桂蘭 <small>之何</small> 雲鷲 <small>之何</small>	桂蘭 <small>之何</small> 雲鷲 <small>之何</small>		

澤寫
苕花
萹

花の葉を二枚とらん草はより
合を毛打の葉の丸葉の花
葉の毛を打つる葉は
花を打つる葉は蓮の葉
おの毛を打つる葉は
かたの毛を打つる葉は
はつる葉の葉は
はつる葉の葉は
はつる葉の葉は

羊陸
麥士
杏調
五本
其朝
志江
後
瓶杏
藤亭
二龍
何川
何川
芳後

其五十一

海衣
蘭州
蒲穂
鏡線
凌霄
眼皮
罌麥

海衣の葉を二枚とらん草はより
蘭州の葉を二枚とらん草はより
蒲穂の葉を二枚とらん草はより
鏡線の葉を二枚とらん草はより
凌霄の葉を二枚とらん草はより
眼皮の葉を二枚とらん草はより
罌麥の葉を二枚とらん草はより

其陸
南古
出有
未風
掃席
正意
後
眼皮
紀修
杖条
渡口

石竹片

世に牛も昔は横たふりしとて

旅憂女

芍药

るももあふさくつたて

一徹

風蘭

ふらふらあつくさつたて

葉兒

玉簪

ぬらぬらあつくさつたて

崔氏

虎鼻

まがしあつくさつたて

涪水

鷲爪

まがしあつくさつたて

歸棠末

射干

まがしあつくさつたて

有言近江

青鬼燈

まがしあつくさつたて

一羽

夏五ノ一

青鬼燈

まがしあつくさつたて

且來近江

林檎

まがしあつくさつたて

徒遊

麻

まがしあつくさつたて

青楓出羽

夏別系

まがしあつくさつたて

楚水飯前

綿花

まがしあつくさつたて

菊羽大隅

些蘘

まがしあつくさつたて

有韻

小菡豆

まがしあつくさつたて

南人佐右

些蘘

まがしあつくさつたて

鼓勢

小菡豆

まがしあつくさつたて

卦士河内

胡麻

生薬

Handwritten cursive text for the 'Huma' section, consisting of approximately 12 vertical columns of characters.

昼顔

山麻 如雷 喜笑 桂合 青出 純青 蝶碎 桐字 得々 垢雨

夏五ノ二

夕顔

Handwritten cursive text for the 'Yugao' section, consisting of approximately 12 vertical columns of characters.

鳥語 有魚 寔費 寔 寔 寔 寔 寔 寔 寔 寔 寔 寔

百日

素行
鳩水
文野
一風
佳極

雲雀鷹

飛川
楚舟
楚明

練玄雀

楚明
楚舟
楚明

腐柳化虫

蟬

楚明
楚舟
楚明

夏中

空蟬

實例
普成
著我
柳英
探夢
志信
如函
夢露
道肥
始百

毛虫

虫

繩

蚤

Handwritten cursive text in the right column, likely describing various types of insects and their characteristics.

馬隨 外六 繇山 岩岩 翠雲 風後 如泊 抵雨 木菜 九葦

夏五ノ四

燈蛾

夏虫

鱗的

海月取

Handwritten cursive text in the left column, continuing the descriptions of insects and related items.

菊二 有若 白少 青標 得佳 只言 相友 孤身 播中 東和

仲繪

川狩

秋近

秋待

船り女の歌はら仲繪に
 津波の隣に舟をこぎ
 川を渡る舟の音は
 細きとて天音なりと
 夕の光をみれば秋は
 夕の光をみれば秋は
 秋の光をみれば秋は
 秋の光をみれば秋は

朱桂

寸以

風馬

上貞

五原

彌子

呂風

水序

夏舟五終

